

寺報

龍正寺

日なた 119号

感

謝

日
廷



<平成 30 年 4 月>

宝 龍 会
護 持 会

春季彼岸中日法要会を開催しました

御住職の法話に耳を傾けます。
勉強になります。



日なた3月号、住職一言に「お彼岸は7日間あります。ご先祖様に色々な品々をお供えして供養されることが大切かと思えます。」と書いてありました。これを読んでから、自宅のお仏壇に多めにお供えをするようにしてみました。

子供の頃は上手くいかないことがあると「産んでくれと頼んだ訳でもない！」と言って両親を困らせていました。でも最近は『ご先祖様がいたから今こうして自分が生活できている』と素直に感謝することができるようになりました。毎日感謝の気持ちでお題目を唱えることで先祖供養をして、その事が充実した毎日を送ることに繋がっていると思います。

これからもお題目を唱え、先祖供養をしっかりと行っていきたいと思っています。



うちわ太鼓で精一杯御題目を唱えます…



たくさんのお供えが上がりました

子供祈祷会のお知らせ

龍正寺では毎年5月5日に子供祈祷会を開催しています。子供さんの健やかな発育を祈願するもので宗派等関係なく、どなた様でも参加して頂けます。街カフェみたいな感じでお茶を飲みながら、お菓子をつまみながら、子育ての事や普段の何気ない会話など気楽におしゃべりして頂けます。事前の予約等は必要なく当日気軽に参加していただけます。もちろん子供さんのいない方も大歓迎。一緒におしゃべりしませんか？

皆さんの参加をお待ちしています。

*写真は去年の様子です。



らかんGに参加させて頂きました

薄皮鯛焼き 福丸

すべては「こんにはは！」から始まる

挨拶と笑顔が、私の人生を変えた！



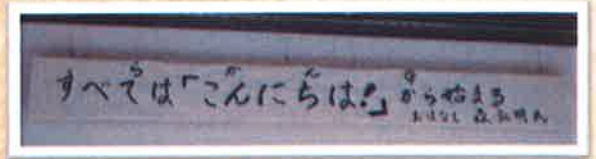
森 弘明 (もり ひろあき)
 岐阜県日蓮宗3家内。龍正寺一宮住持も、
 本宮副住持も兼務する一ツツト寺僧は
 昭和42年福丸で食品専攻会を設立
 平成9年福丸で食品・健康製菓会社設立
 平成18年福丸介護の島田邸
 岐阜県内で福丸専門店「福丸」開設
 平成24年伊豆山福丸専門店へ移転
 職人2名

日時：平成30年3月1日(木)
 開場：午後1時30分 開演：午後2時から
 場所：メディアコスモス
 みんなのホール

入場無料
 席に限りがありますので、お早めにお出掛け下さい

主催：らかんG
 岐阜県日蓮宗寺院

メディアコスモスへのアクセス

「鯛焼きにも、天然物と養殖物があるのをみなさんご存知ですか？」とこんなユニークな、法華寺の高木上人の紹介で始まった今回のらかんG。

講演された森さんの人柄もあり、会場内からは時折笑い声も聞かれ、あっという間に終了となりました。

その中で一番印象に残ったのが、「一人の人にずっと、挨拶をし続けて一年後にやっと挨拶が返ってきた。」というエピソードを紹介され、続けることが大切だとおっしゃった事です。

自分自身お題目を毎日真剣に唱えるようになって少しずつではありますが、良い状態になっていくのを感じています。これからもこの良い状態が続くように毎日お題目を唱えていこうと改めて思いました。



こんなような道具で鯛焼きを一匹ずつ焼いているそうです…



メディアコスモス内の案内看板

『ふかむGに参加された方々の
御意見、感想、学びです。』

人は人との繋りが必要だ”
挨拶をする事において自分が色々な
人と関わっている事を自覚する
人間は弱いものであり人とたわいのない
話をする事で存在価値をみつけようと
している
自分はどう生きてきて、どう生きるべきか
考えさせられました
多くの人々と関われる事に感謝し
自分が有るのは祖先、両親、家族などの
人々と関わりをもつ事で相手を思い
自分自身を見つめたいと思いました

日蓮宗寺院 らんぐ講演に参加させて頂き
ありがとうございます

(おへては こんにちは) から始まる挨拶と笑顔
努力の人生です

朝の挨拶はお早うございます。今日も一日元気で
の言葉で万の勇気が出たため 他人の方へ言葉が
出ないか 掛ける事か 出来ませんでした。

声を掛けられた人も 無視される事が多い 今日頃ごろ
です。でも最近では 新聞配達の人 や 不景気になる人
仕事に出掛ける人も 今では返事か戻り

来るようになりまし。寒の朝でも心温まる思い
です。本当にうれしい思いです。

お互いに やさしさ。思いやりの心を大切にしたい
ものです。

残り少ない人生 南無妙法蓮華経の 不題日
唱えて 皆様の幸福を祈りたいと思えます。

南無妙法蓮華経 合掌

2018. 3. 1 ラカン G 報告

いろんな職種を経験（10年も持続していない、但しタイ焼き屋は11年目）

それまでの出会いで言われた言葉で継続は力なりが心に残り今に繋がっている。

発信していると、不思議と情報が集まる。

挨拶をするようになって変化が一番早いのは子供。

大人は時間がかかるのと、人によっては声を掛けるなどと言われることから、良かれと思ってもすべての人がOKではないということは考えていかないといけない。

健康でないと伝えたいことも伝わらない=こんにちは、の5文字だが大事

それは健康でないと言葉が相手に対して心配させてしまう事にもなりうるため。

言い続けたい。言葉のキャッチボールが励みになる。

らんG 「すべては“こんにちは！”から始まる」

薄皮鯛焼き「福丸」森 弘明さん

に参加して

えっ?! 福丸?! 鯛焼き?!

お寺で らんG のポスターを見て びっくりしました。

「福丸」とは 娘と私の大好きな 鯛焼き屋さん。(かまゆも絶品です!)

福丸のおじさん(失礼)ご主人が 日蓮宗主催の会でお話を下さるの?!

私は 楽しみ一杯の気分で 初めてのらんGの会に参加させていただきました。

お題は「すべては“こんにちは！”から始まる」です。

…娘と私が 福丸 に初めて行ったのは 今年、社会人デビューした娘が 高校生の時でした。二人で学校行事の帰りに車で行きました。お店に駐車場がないのを知っていたので ちゃちゃっと 鯛焼きを買ってすぐに帰るつもりでした。

福丸のご主人は「車、その所なら大丈夫ですよ。どうぞ」と声をかけて下さいました。

私は安心して店内で 出来たてのおいしい“天然薄皮鯛焼き”をいただく事が出来ました。店内の壁には びっしり 色々な広告が貼られていて お店と色々な方々が つながっているのを感じました。ご主人と広告を見ながら少し会話をした気憶です。初めての場所なのに 何だか居心地が良くて 又、ご主人のお人柄や対応のおかげで、鯛焼きの味も増していった感じです。又、来たいな♡と思いました。

そんな福丸のご主人、森さんのお話。

今回のお話で“挨拶”について考える きっかけをいただきました。

私たちは 多分 子どもの頃から「挨拶は大事だよ」と親や学校で教えられて来ているので「挨拶は大事なんだ」という事を良く知っています。

それで自分はどうか? といえは“あまり出来ていないぞ!”と気づきました。

親しい関係の人や人間関係が良好な人とは 元気に挨拶が出来ますが そうでない場合は 迷いが生じて 会釈だけになったり、小声でボソッと、という 具合になってしまいます。

森さんのお話では お店の前を通られる方、老若男女問わず、それどころか、犬であっても「こんにちは!」と声をかけられる、とおっしゃいました。

森さんの おじいさんは 相手から挨拶がもらえなくても「こんにちは!」と

挨拶を続けられた所です。なかなか出来る事ではないと思います。

挨拶を続けた結果、一年位経って お客さんとしてお店に来てくれた方がいたそうでした。きっと森さんの「こんにちほく」から何か伝わったからお店に来てくれたのかと思いました。

もし森さんが根性だけで押しつけがましく声をかけていたり、自分の欲だけの為に相手に近づく手段のような挨拶だったなら そうはならなかったと思います。誰でも「こんにちほく」と声をかけられて嫌な気分になる事はほぼ無いのではないのでしょうか。

自分も思いがけず 嬉しい挨拶をいただいた経験があるのに、どうしてそれが出来ないのかと思いました。

くだらない人間関係のわだかまり だとか勝手な先入観が邪魔をして迷いが生まれているのだと思いました。

余計なものをすっかり無くした 心に「今日もよろしくね」とか「調子はいかが？」等 思いやりの気持ちを添えて誰にでも挨拶が出来たら どんなにいいかと思います。

以前 お寺で「常不軽菩薩」と呼ばれたお坊さんは「私はあなたを敬愛します。決して軽んじたりしません」と誰でも合掌して拜んだ、というお話を教えていただきました。

どんな相手でも敬う気持ちを持つ事はなかなか出来ない事かもしれませんが自分の心にも忘れず心に留めて人と接するよう心がけたいです。

森さんの挨拶には、きっとこの様な気持ちが込められていたのかと思います。

今回 らかん寺に参加して、この様に考えるきっかけをいただいた事に感謝申し上げます。

「挨拶」を通して自分自身が少しでも良い方向へ一歩前進出来るよう心がけていきたいです。

⇒ 謹一言 = 感謝

暖たかくなつて来ましたね、そして年度が変り新しい生活がスタートしました。皆々様の御家庭はいかがですか。

在家の誓いの中に、こんな言葉があります。

1. 明るく楽しい家庭 — 一家互いに相敬愛し、共に心をあわせ、明るく楽しい家庭を築くよう心がけます。

新しい生活になり、常に感謝の気持ちをもつて毎日をお励み下さい。

私自身の事になりますが、仏様に感謝の心で、お題目を唱えさせて頂く様、常に心掛ける様に勤めておりますと、何かが変わり思わぬ御縁を結ばして頂ける事があり、自身も小さな事でも、ありがとう、と言える様心掛けています。この気持ちを持った様になって少しずつ変わって来た様に思えます。まず心の苛立ちが以前よりも減り、穏やかな心が多くなりそして

体調が良くなつて来ています。法華經お題目を唱えさせて頂く事により、自分自身が変りつつある事に仏様に感謝いたしております。

皆様方も明るく楽しい家庭が築ける様感謝の心を持って下さい。法華經お題目を唱え安穏な御家庭を築き下さいます事を祈りいたします。

南無妙法蓮華經

合掌

『仏様からのお告げ』

今年に於て、二回目の寄稿とさせていただきます。
毎月とは言えませんが、私達の体験談が寄稿とすれば
と思ひ書かせて頂きます。
この半年間(9月~3月)でも沢山の不思議な事が多々ありまして
その中でも... あれは12月中旬頃なのですが... 不思議な夢を見ました。
夢の中で、すごく眩しい光が右とから差して来て(真夏の太陽の様な)
その光の中から声が聞えて来ました...

「お前は来世にノルウェーの川の傍に生まれたいか?
それとももういちど日本に生まれ修行するか?」

と話しかけられました...
話尾に近くに連れ声は段々小さくなりまして、ハッキリとした男性
のお告げ声でした。

翌朝に私はノルウェーの国がどこにあるのか?と調べてみると、
北極圏に近い国で... おまけに川の傍に建てられていたり、
と思ひながら... 「あの光は何に由来するのか?」「あの声は誰?」と
不可思議な事だ、龍正寺の日蓮聖人の御前にて私も

「昨夜の夢が誠とすれば、来世は日本で修行したいです」
と応え返答しました。

それから夢の中で仏壇の中から光が出たりと不思議な事が
ありました。

もうひとつの不思議な事は... 一年半も以前の話しなのですが、
深夜と昼間に1回ずつそれぞれ扉を誰かがノックをします。
扉の向こうには誰もいません... さすがに昼間は自室に私ひひひ。
不思議とあり、不気味もあり... その事を佐々木人に伝えてみると、

佐口人から「会社の建物の周辺に燃えるものはありますか？」
と指適して頂き、早速会社に戻り確認すると

腐った木のバレットが有りました。

その事を伝えると佐口人から「君の守護霊が教えてくれている」と教示して頂きました。

私は不思議な感激を覚え、龍正寺の日蓮聖人の御前に
こう話しをしました...

「私の守護霊様にお礼が言いたかったので夢の中で
逢わせ下さい。どのうちか解る方に赤色の羽織を
着せて下さい」 私なりに素直な気持ちでした。

その夜の夢の中で願いは叶いました！

私の夢で私の目の前に現れた守護霊様は男性の「僧侶」でした。
そして約束通り？に羽織ではなく赤い箱のような物を胸の前に
持ち現れた。私にこう告げられました...

「私か(ワッが?) 見えるから心配するな！」と告げられ
聞きはじめる

消えて行きました。

本当に不思議な夢でした...

佐口人にその事をそのまま伝えると「君の前の前の前世に関わる
人だと思ふ」と教えて頂きました。

私が龍正寺佐口人様との御縁を繋ぎ下さったのは
この僧侶の守護霊様かも知れない...とそう思いました。

私自身は心が弱く、すぐに落ち込んできてしまったり...

そんな時に「見て下さっている... 独りでいませんか！」と

勇気を頂いています。

何故だか分かりませんが... リフの目が私にお迎えが来た時
にお会いできそうに気がいたします。

～ 喜びの導き ～

今年になってから、長年の心願が成就しました。

ひとは毎日法華経を訓読している中で、ふとした疑問がありました。“どうしてかな？”。何度読んでも理解出来ず悶々としていました。御住職にわからないままに訓読するより、少しずつでも納得して読誦していきたいと話させて頂きました。

すると御住職のはかばかいで、大垣市三塚町の宝光寺釋上人より教示して頂く事が出来ました。

長年のもやが晴れました。とてもうれしく心から合掌・感謝しました。

そのようなさめやかな気持ちの日にもうひとりの心願が成就しました。これはまるで轡・鹿車が大白牛車になった様に思えました。

(三車火宅の喩え)

以前より交友のあった岐阜市現正手の御寺族高木さんより素敵なお本のプレゼントを頂きました。

今回のらんかん寺に参加されて、人頼みで私の手本へ届けて下さりました。その本は「香風」。高木さんが京都の日蓮宗のお手で有志の方々の仏教を学ぶ会に参加された時に御縁のあった本だそうです。

あまりに素晴らしいなのでお気持ちのある方に読んで頂きたいと購入されたうちの一冊です。

「お会いする事がなかなか出来ず、一年間大事に保管していました。」と話して下さいました。高木さんのお気持ちが大変うれしく、すぐ手に取り読みはじめました。まるで吸い込まれるように夢中になりました。この本こそ、私が今まで探し求めていたバイブルでした。どのような本を読んでも、頭では理解できても、どのような事がはじめれば良いか、何をすると良いかの方法がわかりませんでした。

御題目を唱えつつ自問自答の日々を過ごしていました。

本を読めば読むほど、信仰の道が輝きある人生の導きだと確信しました。

すぐに高木さんに感謝・御礼を伝えました。

「こんなに喜んで頂けるのなら、もっと早くお渡しすれば良かったですね、と言われましたが、」この時期だから良かったです。」と伝えました。

それはもし一年前だったら、こんなに夢中になれなかったかもしれません。この一年間の出来事で自己覚知が出来ました。今だからこそ

この本を開いた時に、まるで乾いた心に一滴ずつ法華経が染み渡り、ていく事を感じています。

そして、頭の中でわかっている事でも行動に移せない事が多くあります。

また、原因と結果の中で原因がみつけにくい事もあります。

その原因が「我」にあり、と認める事が容易には出来ません。しかし

それをみつけ気がつく事が出来るバイブルです。

是非チャンスがあったら読んで見て下さい。

ますます精進に励み、自らの倅せは自らを知る事だと思ひます。

どうか皆様も精進にお励み下さい。

追伸 高木さんの愛娘さんは日蓮宗あんのん基金支援活動

無料学習塾「慈有塾」を立ち上げられました。

「正法」春彼岸号、「宗報」平成30年2月号に掲載されて

いますので読んでみて下さい。

< 4月の行事 >

4月 8日 (日) 10:00~

釋尊降誕会

宗祖日蓮大聖人報恩会

立教開宗会

4月 15日 (日) 13:00~

大祈禱会

(終了後檀信徒総会)

< 住職の予定 >

4月 4日 (水)

身延山久遠寺へ

4月 24日 (火)

25日 (水)

蓮師法縁 - 知多郡へ
(出席予定)

< 4月の予定 >

4月 1日 (日)

各々の時間で

清掃・準備

↓

7日 (土)

↓

8日 (日)

法要後

片付け・準備

9日 (月)

各々の時間で

清掃・準備

↓

14日 (土)

↓

↓